

プログラム

12:30 開 場

13:00 基調講演

安田 喜憲 [国際日本文化研究センター教授]
“地球温暖化の危機を救えるか!”

14:30 休 憩

14:40 特別スピーチ

あん・まくどなるど

[国連大学高等研究所
いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長、
県立宮城大学客員教授]

“いしかわの里山に触れて”

15:10 パネルディスカッション

テーマ “里山は面白い”

●コーディネーター

鎌田 直人 [東京大学大学院農学生命科学研究科准教授]

●パネリスト

赤石 大輔 [理学博士・里山里海自然学校研究員]

大野長一郎 [大野製炭工場代表]

河崎 仁志 [いしかわ自然学校インストラクター・
金沢森林組合金沢支所事業推進課課長補佐]

水上 力 [石川県林業作業士・(株)てどり総務課長]

16:40 閉 会



安田 喜憲

[国際日本文化研究センター教授]

1946年 三重県生まれ。東北大学大学院理学研究科修士課程修了。理学博士。94年より現職。環境考古学という新たな分野を日本で最初に確立した。スウェーデン王立科学アカデミー会員。京都大学大学院理学研究科教授(併任)、フンボルト大学客員教授などを歴任。2001年、地球科学や環境科学の分野で著名なクロホード賞にノミネートされる。2007年11月紫綬褒章を受章。著書に『気候変動の文明史』(NTT出版)、『長江文明の探求』(共著、新思索社)、『日本よ、森の環境国家たれ』『文明の環境史観』(いずれも中公叢書)、『森のこころと文明』(NHKライブラリー)、『気候が文明を変える』(岩波科学ライブラリー)、『龍の文明・太陽の文明』(PHP新書)、『一神教の闇—アニミズムの復権』(ちくま新書)など多数。



あん・まくどなるど

[国連大学高等研究所
いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長、
県立宮城大学客員教授]

カナダ出身。1991年ブリティッシュ・コロンビア大学東洋学部日本語科卒業。高校、大学時代に日本に留学経験もある。日本での農村暮らしを経て、日本国内外の農山漁村を体験取材し、研究を重ねている。「立ち上がる農山漁村」有識者会議委員(内閣官房)、全国環境保全型農業推進会議委員(農林水産省)、(社)全国漁漁場協会理事、(財)地球・人間環境フォーラム客員研究員なども務める。著書に、『原日本人挽歌』『日本って!? Part1・2』『Lost Goodbyes とどかないさよなら』『From Grassy Narrows』(英語版、議員浩との共著)などがある。発行人・プロデューサーをつとめた『北の国へ!! NUNAVUT HANDBOOK』は「第3回カナダ・メディア賞」の大賞を受賞、議員浩との共著作『カナダの元祖・森人たち』は「2004年カナダ首相出版賞」を受賞した。2007年夏、フィールドワークの拠点である宮城県大崎市長山の農村を舞台とした『田園有情』と、対談集『原日本人やーい!』を上梓した。(著作は全て清水弘文堂書房刊)



大野長一郎 [大野製炭工場代表]

1976年 石川県珠洲市生まれ。4年間の民間企業勤務の後、「森の名手・名人」100人に認定されていた父長次氏の元、家業の炭焼きに従事。2004年よりお茶炭の産地化を目指し、クヌギを植栽。同年、28歳で珠洲市木炭組合長に就任。2006年より里山里海自然学校駐在研究員。毎年秋に開催される石川の農山漁業まつり「木竹炭品評会」では林野庁長官賞、県知事等を受賞した。北陸で一番若い専門の炭焼き職人。



河崎 仁志

[いしかわ自然学校インストラクター・
金沢森林組合金沢支所事業推進課課長補佐]

1969年 石川県金沢市生まれ。1995年 金沢市森林組合入社、現在に至る。自然体験のボランティア活動は2002年より始めており、2006年に設立した医王の森自然楽校では事務局長を務めている。資格:石川県林業士、いしかわ自然学校インストラクター、金沢市森づくり専門員、山菜アドバイザー、ネイチャーゲームリーダー、プロジェクトワイルドエデュケーター、ツリークライミングファシリテーター。



水上 力 [石川県林業作業士・(株)てどり総務課長]

1970年 石川県白山市生まれ。平成元年 高校卒業後、造園会社に就職、平成11年(株)てどり入社。12年からは営業・内業・業務管理等のマネジメント等中心の業務に移行しつつ、林業に携わる免許・資格等を取得して現場作業も行い、林業関係の会議・講習等にも積極的に参加。社内では総括的・総合的に林業を考える立場で、現在に至る。森林所有者様の視点に立ち、かつ「理想的で未来ある森づくり」を目標に活動中。



鎌田 直人

[東京大学大学院農学生命科学研究科准教授]

1960年 山梨県生まれ。84年東京大学農学部林学科卒業。農林水産省林業試験場(現 森林総合研究所)、金沢大学理学部生物学科助教授を経て、2006年より東京大学農学生命科学研究科附属演習林助教授、2007年より准教授。現在、国連食糧農業機構森林資源部門森林保護セクション専門委員、国際森林研究機関連合森林保護部門副会長、日本森林学会英文誌・日本生態学会和文誌・個体群生態学会・日本昆虫学会・日本応用動物昆虫学会編集委員、個体群生態学会運営委員、石川県兼六園マツ等樹木保全対策指導者などを務める。日経サイエンス論文賞(2001年)、日本生態学会宮地賞(2002年)、日本林学会賞(2004年)を受賞。



赤石 大輔

[理学博士・里山里海自然学校研究員]

1978年 群馬県生まれ。里山林のキノコ類とキノコを利用する昆虫類の群集生態について研究を行い、博士論文「金沢市の里山におけるキノコ類とキノコ食昆虫の生物多様性と相互作用」で2006年に博士(理学)の学位を取得。2006年10月より、金沢大学が石川県珠洲市に設立した「能登半島里山里海自然学校」の常駐研究員として常駐。地域と連携して奥能登の里山里海生態系の保全研究に取り組む。また、奥能登各地の里山林のキノコ相の調査や、珠洲市のマツタケ山にてマツタケの増産に向けた研究を行っている。専門は群集生態学。

「ふるさとの森 再び」キャンペーン推進委員会事務局

〒920-0386 金沢市古府2丁目136番地 テレビ金沢内 TEL(076)240-9043

